

総務文教委員会

令和5年12月1日（金）

時 分～ 時 分

第 1 委 員 会 室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【執行部】

（総務部） 坂田総務部長、猪狩総務課長、勝手総務課総務管理係長

（地域政策部） 田中地域政策部長、岸本政策企画課長

（教育委員会） 草刈教育部長、藤井教育総務課長

（消防本部） 田中消防長、赤岸総務課長

【事務局】 松井書記

【議 題】

- 1 所管事務調査事項について
- 2 12月11日（月）の委員会審査日程等について
- 3 その他
 - ・【要望書】学校教材（備品）の計画的な整備推進についてのご希望（委員会に配付）
- 4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について（委員間で協議）
- 5 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて（委員間で協議）

令和5年12月11日（月）10時開催の総務文教委員会における予定議題

- 1 陳情審査
 - (1) 陳情第108号 再配置計画のベースの計算について、全体面積を出し、全体維持費を出してから検討してほしいという陳情について
 - (2) 陳情第111号 登下校は右側歩行等安全を厳守させてほしいという陳情について
 - (3) 陳情第112号 命を守る行動のアドバイスをし、横断歩道での事故を減らそうという陳情について
 - (4) 陳情第116号 庁舎内での録音録画をプライバシーの侵害にならない範囲で許可してほしいという陳情について
 - (5) 陳情第117号 地方自治法2条14項の「最少の経費で最大の効果を」に違反するなという陳情について
 - (6) 陳情第119号 情報の広報と市民の声の広聴（市）に関する陳情について
 - (7) 陳情第123号 サン・ビレッジ浜田アイススケート場の施設の方向性の検討に関し、市が求める費用対効果についてわかりやすい説明を求める陳情について
- 2 議案第61号 浜田市コミュニティー防災センター条例の一部を改正する条例について
- 3 議案第62号 浜田市職員定数条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第71号 浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について
- 5 議案第75号 工事請負契約の変更について（浜田市高速情報通信基盤整備引込宅内工事（金城町地内外））
- 6 執行部報告事項
- 7 所管事務調査
- 8 その他

陳情番号	108
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 森谷公昭

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●再配置計画のベースの計算について、全体面積を出し、全体維持費を出してから検討してほしい。

再配置計画のもととなる維持管理コストをすべて出した上で、このコストは仕方ないとか、政策的なものであるとか理由付けをするならしてほしい。

まず、全体コストを出すべき、全体の増加減少面積を出すべきです。

その結果、増えた、減った面積を把握して、計画との差異を検討すべきではないか？

施設の再配置計画というものがある。

浜田市は、全国平均の2倍の施設面積を持っている。

3割削減して、7割にしないと維持管理費がもたない、という報告があった。

しかし、コストが高騰してもその見直しはない。

計画と実際がどのように違っているか、同じになっているかのチェックもない。

本来は、予定と実際を比較し、差異分析をし、予定の正確さを高めたり、計画変更をしたり、調整をしていくべきものである。

予定と実際を比べようという意思がない。

開示請求でも予定は計画をした当初のまま。

実際は、各課がかかった費用をファイルしているだけで、計画通りか、多かったのか、少なかったのか検討した資料はない。

例えば、各課に計画、予定を意識してもらい、実際との差異を考えると、何か把握して次に生かすようなことをしなければ、市民に対して説明責任が果たせないのではないか？

何かしら検討しないと、計画を作ったが、その通りになったのか、なってないのか誰も知らない、これでいいはずはないと思うのだが、議員さんはどのように思われるか？

浜田市に対し、予算と実績の把握くらいは、するように働きかけてもらえないだろうか？

できれば、差異を次に生かすようにしてもらいたいものだ。



陳情番号	111
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 森谷公昭

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●登下校は右側歩行等安全を厳守させてほしい。

長沢町ダイハツの踏切からミミ美容室、二反田団地へと通じる通学路について、特に下校時は道路の両側に生徒が歩いており、車のすれ違いができず、片側通行のようになっている。

浜田一中、石見小学校の担当先生は右側歩行を指導していると言っているが守られていない。

事故があつてからでは遅いので安全な通行を守ってもらえるよう指導してほしい。



陳情番号	112
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 [REDACTED] 森谷公昭 [REDACTED]

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●命を守る行動のアドバイスをし、横断歩道での事故を減らそう

生徒、大人もだが、横断歩道を渡るのはいいのだが、横断歩道を渡ってれば100%安全と信じているような渡り方である。

周りに注意を払わず、万一車が来てもよけることのできないように思える。

横断歩道を渡るときは運転手の目を見るようにすると事故が防げると聞く。

それぞれが自ら安全な方法を見つければ良いと思うが、車が来たら回避行動に移せるようにならないものか？

せめて、教育委員会が関与できる範囲では指導してもらえないだろうか？



陳情番号	116
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 [REDACTED] 森谷公昭 [REDACTED]

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●庁舎内での録音録画をプライバシーの侵害にならない範囲で許可してほしい。

長い会話を記憶するのは無理ですし、メモしても正確にすべてをメモすることは不可能です。

ICレコーダーを使えば、正確な情報が残るので助かります。

禁止規定を取り消していただけませんか？

安芸高田市では、ほとんどの市と同様録音録画が可能だそうです。

(総務課)

かつ、youtubeで注目されるようになって、職員は勉強するようになりとても良い傾向だと聞きました。

by 総務課長

島根県も担当者の判断に任せている。(人事課)



陳情番号	117
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 森谷公昭

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●地方自治法2条14項の「最少の経費で最大の効果を」に違反するな

川合課長が担当するまちなか交流プラザのセミナー室の利用状況がわかりにくい。

柏村印刷に外注しているということだが、図書館では職員が利用状況をアップしているがとても分かりやすい。

交流プラザはセミナー室1と2のカレンダーがあるが、二つ通して利用できるカレンダーはない。また、1、2がどちらかもわからない。

川合課長によると「1、2のカレンダーを見比べて、両方が空いていれば使えるということだ！」これは市民サービスといえるのか？

しかもセミナー室も一見利用時間帯が書いてないので何時まで使用予定かがわからない。

そのことをいうと、「マウスポインタを上を持っていくと表示される」ということだった。

浜田市の情報担当者でさえ気が付かなかった。

そのマウスポインタをかざしながら、両方が使える時間帯を探せと言われた。

しかし、図書館では職員がわかりやすい表を作っている。

柏村印刷に何十万円をかけ、市民がわかりにくい表ができ、わかりやすい変更も拒否でいいのか？

それなら、図書館と同じ方法を使ってほしい。

そもそも、図書館を参考にして表示すべきであったと思う。

このように浜田市では情報の横の共有化がなされていないように思う。

とりあえず、まちなか交流プラザの利用状況を把握する表は、即改善してほしい。

図書館ではできているのだから。



陳情番号	119
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長笹田卓様 2023年11月16日

浜田市日脚町 森谷公昭

下記内容を執行部へ働きかけるよう検討していただきたい。

●情報の広報と市民の声の広聴（市）

安芸高田市では、市民に公開すべき情報は、youtube 動画で発信している

市長の発言動画はコメントも書き込める

切り取りも禁止していない

安芸高田市議会も議会動画はコメントできないが（議会に権限があるため）

切り取りは禁止していないし、切り取ったものについてのコメントも禁止していない。

この結果、議会や委員会での職員の発言も全国レベルで注目されることになった。

安芸高田市の話では、職員の答弁のレベルがかなり向上したということだった。

議員のレベルも全員とは言わないが向上しているように思える。

コメントについての弊害より言論の自由のほうが優先されている。

よそでは、正しい反対意見を抹殺するために、弊害を強調する手法があるとも聞いている。

浜田市もコメント可能な動画をできる範囲で発信することを検討したらどうか？



陳 情 番 号	123
付託先委員会	総務文教委員会
審 査 結 果 等	

浜田市議会議長様

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の施設の方向性の検討に関し、市が求める費用対効果についてわかりやすい説明を求める陳情

サン・ビレッジ浜田アイススケート場は、今年の春の営業終了後に冷凍機と配管の故障が明らかになり、今シーズンは営業できない状態です。冷凍機は25年稼働しており、近年は不調を認識しながらも費用を理由に必要なオーバーホールを行わないと決めて運用してきたため、経年劣化によってこのようなことが起こることは予想できたはずですが、運転できない状態になるまでに冷凍機を更新して施設を存続、活用するという判断は行われませんでした。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の今後については、浜田市は施設の方向性についての調査や検討を三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社へ委託しており、同社によって市民や市内の学生、利用団体等を対象に調査が行われているようです。

令和3年春、ソチオリンピック日本代表の町田樹さんやサン・ビレッジ浜田で練習するスケート競技団体の陳情書提出を受けた久保田市長は「あった方が良いが、費用のこともある。外部から人を呼び込む施設として再度検討する。」と回答下さいました。

通常、市のスポーツ施設の用途、目的は「市民の健康増進や、生涯スポーツの推進、競技力向上」等であるため、市民の利用を主に想定して設置されると思います。しかし、このスケート場は浜田市が主に市民の利用を想定して設置したものではなく、国が設置したものを、後に市が買い取ったという施設です。設置当初から、当時の浜田市民だけではなく、周辺市町や県外等、広域からの利用がありました。ピーク時は2万人以上、その後も安定して1万人以上の利用があり、開場期間が約半年間であるため、浜田市のスポーツ施設の中では日あたりの利用者数はトップクラスに高い施設です。そして利用者1人が負担する利用料金も、浜田市の公共施設の中で群を抜いて高い料金が設定されています。これは、冷凍機のランニングコストが年800万円程度必要という他の施設と異なる事情があったため、そこを利用者(受益者)が負担することで施設を維持するという観点から当然のことと考えます。

一方で浜田市の他のスポーツ施設(陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、ゲートボール場、体育館等)も、イニシャルコスト、ランニングコストを利用者が負担して施設を維持するという考えに基づいて運営されていません。具体的な例を挙げると、陸上競技場は数年ごとに地盤沈下対策に3000万円~5000万円、野球場もフェンスや電光掲示板の修繕・更新に約1億円、市民プールも屋根の大規模修繕等、さらに大きな費用をかけていますが、これらの費用をまかなうために利用料金を大幅に上げるといったことは行われていません。これは「市民の健康増進や生涯スポーツの推進、競技力向上」等の目的を果たすため、市がその維持運営にかかる費用を予算化し、市民全体として負担しているということです。

令和3年春に浜田市教育委員会が行った「サン・ビレッジ浜田アイススケート場シミュレーション」を以下に示します。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場 シミュレーション **未定稿** 平成29年度実績から

スケート場	更新費	年間 利用料収入	ランニングコスト								年間合計	年間収支
			電気代	水道・ガス代	灯油代	メンテナンス 年	メンテナンス 定期	修繕費	人件費	その他		
A 現状		9,300,000	3,180,000	250,000	4,410,000	2,010,000	1,200,000	150,000	4,600,000	1,580,000	17,380,000	-8,080,000
B 更新 キュービクル	80,000,000	9,300,000	4,000,000	150,000	0	1,700,000	440,000	150,000	4,600,000	1,580,000	12,620,000	-3,320,000
製氷庫	22,000,000											
LED化	35,000,000											
現状との差			-820,000	100,000	4,410,000	310,000	760,000	0	0	0	4,760,000	-4,760,000
C 多目的 人工芝	38,600,000	2,770,000	840,000	50,000	0	0	0	100,000	3,500,000	800,000	5,290,000	-2,520,000
LED化	35,000,000											
D 多目的 LED化												
E 多目的 LED化												

B 新たに更新した場合、Aの現状と比較して、年間で4,760,000円のプラス計上となる。冷凍機と製氷庫、LED工事を実施した場合、およそ140,000,000円と想定する。単独に指定管理料は、現行よりも約4,760,000円減額できるが、工事費の返済を考慮して、補助金なしの場合、137,000,000円/4,760,000円=28.8年
 冷凍機の耐用年数は、約20年と言われており、工事費返済が済まないうちに新たな冷凍機の更新が必要となる。
 年間利用料収入が12,700,000円以上になれば、年間収支のバランスが取れると推定される。 目標利用料収入が年間12,700,000円
 平成29年度～令和元年度の利用料収入の平均が1人あたり約940円として、試算した場合、シーズン約13,500人以上の利用者数があれば収支のバランスが取れる。
 1/3補助26,400,000円となり、冷凍機53,600,000円+57,000,000円=110,600,000円
 110,600,000円/4,760,000円=23.3年
 2/3補助153,360,000円となり、冷凍機26,640,000円+57,000,000円=83,640,000円
 83,640,000円/4,760,000円=17.6年
 以上のことから2/3の補助金を得ることができれば、耐用年数で更新できる。
 見積の試算
 A社2基の見積金額:43,556,700円(税込) 機器設備費:24,887,000円+現地工事費:13,110,000円=37,997,000円
 37,997,000円×1.45×1.1=80,605,215円(国の基準で建築費による試算)
 80,605,215円+別途工事+キュービクル=約80,000,000円~90,000,000円
 【利用料収入、利用者数は別紙1を参照】
 C 多目的施設にした場合、人工芝化とLED化で73,600,000円、ランニングコストは想定で年間でマイナス2,520,000円となる見込み。
 年間で約2,520,000円マイナスとなるので、指定管理料は、約5,560,000円減額できる。 室内テニス、ゲートボール等の軽スポーツ、フットサル(考え方としてスケボー)
 利用者数:15,800人、73,600,000円/5,560,000円=約13.2年、2,770,000円/15,800人=約175円/人
 人工芝の耐用年数が、約20年と言われており、更新費が約14年で換算できることになる。機器の更新やメンテナンスがないのは魅力的。
 電気代は機器がなく照明だけとなるので、840,000円/年、水道・ガス代も氷を張ることがないため、50,000円/年
 人件費は、受付等がメイン業務となるので、パート雇用で3名体制とした。 利用料収入が5,300,000円あれば収支バランスが取れる。 利用者数:30,300人(厳しい)

冷凍機の更新と照明のLED化で、ランニングコストは年間476万円減少する試算になっています。しかし、この資料の説明文においては、スケート場として存続する場合も、用途変更する場合も、イニシャルコスト(改修の工事費)についても、耐用年数の期間をかけて利用料金収入で「収支バランスが取れる(指定管理料無しで運営できる)利用者数」を求めようとしています。

浜田市の公共施設で、建設時や大規模修繕時に、以降の利用料金収入でその工事費と維持管理費をすべてまかなう(市の実質持ち出しは0)というものは無いと思います。多くの公共施設は、毎年度市民全体で施設の人件費を含む管理運営費用を負担しており、取得や大規模修繕等の大きな費用がかかるイニシャルコストについては起債することで将来の市民も含めてその費用負担を平準化しています。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用について、浜田市教育委員会がこうした現状に当てはまらない考え方でシミュレーションを作成している理由も不明です。

以前市議会に提出し採択して下さった陳情で、判断材料（調査や検討の項目）、判断基準（それらがどうであれば存続したほうが良い、または用途変更したほうが良いのか）の説明をお願いしましたが、執行部からは外部に調査検討を委託することを決めているという説明だけで、疑問に対する具体的な考え方が何も示されていないため、市の考え方が分かりません。

サン・ビレッジ浜田のアイススケート場の方向性について、費用対効果（例えば、これまでの施設の実績に鑑み年間〇〇人程度の一般市民と〇〇人程度の教育利用+年間 5000 人の交流人口の維持は必要である。そのために市として負担できる費用の限界は〇〇であり、根拠は〇〇である等）に関する市の考え方についての説明が必要かと思えます。

施設の方向性の決定を行うまでのいずれかの段階で、議会や市民にわかりやすく説明していただけるように、執行部に働きかけて下さいますようお願い申し上げます。

2023年11月17日

浜田市国分町

三島 淳寛

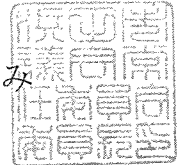


令和5年11月27日

総務文教委員長 芦谷英夫様
福祉環境委員長 三浦大紀様
議会運営委員長 柳楽真智子様

議会広報広聴委員会

委員長 村武まゆみ



ぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について

ぎかいポストに寄せられた意見について、別添意見等一覧表を提供いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、貴委員会にて議会としての対応をご協議いただき、協議経過及び結果を令和5年12月13日(水)15時までにご報告くださいますようお願いいたします。

報告いただいた内容は、はまだ議会だより Vol.72 (令和6年2月1日発行予定) に掲載予定です。

ぎかいポストに寄せられた意見等対応報告

総務文教委員会

意見	対応経過及び結果
<p>史跡にある緑の看板が全て知りたいです。緑の看板とは、例えば成田郷三角田記念碑にある三隅町教育委員会の看板のことです。パンフレットなどで、全ての看板の一覧が見たいです。</p>	

番号	1	テーマ	合併処理施設維持管理に関する協定書の修繕費等見直しについての要望
氏名	ふくろじり たかし 袋尻 孝		
内容	<p>1. 平成 10 年 6 月に締結した協定書は実情を反映していない。</p> <p>2. 協定書の土地所有者が負担する大規模な修繕費（積立金）の負担割合が按分負担は疑義があります。（按分→応分）</p> <p>3. 丙の土地所有者であっても都合により居住する事が出来ない場合はこの責を免除するのが妥当です。（協定書に記載すべきです）</p> <p>4. 甲が提示される長期計画策定書の丙の負担額が受益分の 1.5 倍です。</p> <p>5. 大規模な修繕費は設置者、所有者である甲、浜田市下水道事業者である乙が応分の負担をして丙の応分負担は下水道利用料金、他団地の利用料金を参考に検討すべきです</p>		
対応	福祉環境委員会で対応する。		

番号	2	テーマ	石見神楽をもっと発信してみたらどうか
氏名	ささき かずま 佐々木 一真		
内容	<p>コロナが落ち着きはじめて、県外の神楽公演依頼も増えてきましたが、まだまだ石見神楽を知っている人はとても少ないと思いますのでもっと石見神楽を発信して興味を持つ人を増やしてみたらどうでしょうか？興味を持つ人が増えれば浜田市への観光客が増えると思います。以前「日本石見神楽大会」で神楽に関する施設を考えていると、久保田市長が言われていましたが話は進んでいるのでしょうか？もし実現可能なら浜田市の良い観光スポットになると思います。また、ふるさと寄附の貯金が 25 億あり、その中の 7 億が石見神楽などの伝統芸能に使ってほしいという話を聞きました。そのお金を石見神楽の発展につながることにぜひ使っていただきたいです。</p>		
対応	浜田市議会石見神楽振興議員連盟で対応する。		

番号	3	テーマ	浜田市の子ども達の水産体験
氏名	えんどう ひろゆき 遠藤 祐之		
内容	<p>私たちが子供の頃は、生湯などに行ってサザエなどを取って食べていた。今の子供たちは海にサザエがいて、それを取って食べられるという事を知らない。（取ってはいけない）</p> <p>せめて鑑札などを販売して、海とふれ合う機会を作れないものか。</p>		
対応	産業建設委員会で対応する。		

番号	4	テーマ	多世代との意見交換の場づくりの必要性
氏名	みうら かける 三浦 走		
内容	<p>浜田市に住んでいて、もっと多世代との意見交換できる場が必要だと感じる。社会に対して自分なりの意見を持ち、積極的にそれを議論したり発表したりする場があれば、より広い視点で物事をとらえる力がつくと思う。</p> <p>多世代を意識することで、それぞれの世代が持つ考え方や知識、価値観を他の世代に共有することが出来る。それらは自分ひとりで獲得するのは難しいと思うので、多角的な視野を養うためにもこのような場づくりは必要であると考えます。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	5		
氏名	しまだ れな 島田 怜奈 こばやし のぞみ 小林 希実 みやた ゆき 宮田 優希	テーマ	浜田市へのお願い「地域交流と食」
内容	<p>①地域の人たちが集まれる場所が欲しい。海士町あまマーレのような、遊ぶ子供、読書する大人、ご飯を食べる場所、物々交換できる場そういった場所。</p> <p>②学校給食の牛乳を選択性にしてほしい。診断書がないと飲まなくてよいという制度が疑問である</p> <p>③県立大学生や浜田の高校生と活動ができる場がほしい。せっかく浜田に大学があるのだから、全国から来たお兄さんお姉さんといろいろ話してみたい。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	6		
氏名	みうら めい 三浦 萌衣	テーマ	竹迫児童公園について
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の遊具について ・公園の時計設置について ・公園の駐車場について 		
対応	産業建設委員会で対応する。		

番号	7		
氏名	たなか そうま 田中 聡真	テーマ	浜田市のイベントを増やす
内容	<p>浜田市は人口が少ないからイベントを増やし参加してもらい浜田に多くの人に来てもらえるようにしたい。浜田のことを多くの人に知ってもらおう。</p>		

対応	産業建設委員会で取り上げ、所管委員会で実施している各種イベントについてはそれぞれで確認する。
----	--

番号	9	テーマ	浜田市郷土資料館について
氏名	くしもと やまと 櫛本 和		
内容	<p>私は、令和4年12月より半年間 HAMADA 教育魅力化コンソーシアムが主催する、「ふるさと歴史探求プロジェクト・高校生学芸員」に参加し、浜田城・浜田城下町・外ノ浦について探究活動を行いました。私の研究テーマは「浜田城落城への道のり」です。史実にはない浜田城籠城戦を想定し、浜田城資料館や浜田市郷土資料館に展示されている文書や地図、当時の実際の手紙などの資料の調査、そしてフィールドワークを通じて、浜田の地形や建造物の意図、寺院などの配置などについて探究し、城下町・はまだについて考察しました。この探求の結果として、城下町・浜田が軍事都市として大変優れていることがわかりました。そのことで私は、自分の住んでいる浜田について誇りと愛着が一段と強くなりました。同時に、城下町としての浜田の歴史の面白さや意味を地域の方々にはもちろん、浜田を訪れる人々に知ってもらいたいと思うようになりました。探究活動の際に訪れた「浜田市郷土資料館」では年代ごとに展示する形式が採用されていて、非常に伝わりやすく理解しやすかったです。しかし、館内は狭く建てられてから60年が経過したという事もあり、老朽化が進んでいるようでした。まだ、展示できるものが存在するにもかかわらずできていないようでした。こういったことで私は「浜田市郷土資料館」の建替え案の推進を提案します。</p>		
対応	総務文教委員会で対応する。		

番号	10	テーマ	浜田港を活用した新エネルギー基地構想について
氏名	ありの ゆうと 有野 夢叶		
内容	<p>2023年は政府のほうで「水素基本戦略」の改定といった新エネルギーに対して様々な動きがあった。また政府は水素産業に15兆円投資するなど</p>		

	の様々な支援も表明した。その流れを浜田市・浜田港にもってきて、浜田港を中心とした新エネルギー産業創出への提言を行う。
対応	福祉環境委員会及び産業建設委員会で対応する。